

第 4 期子ども記者 1 年間の活動記録

子どもたちが大阪市の地域情報誌『うっこ vol. 4』制作中！

2026 年 1 月から 7 月まで毎月 1 回活動し 9 月に雑誌第 4 号を出版します。

子ども地域情報誌プロジェクトは大阪市の子ども記者（キッズクリエイター）たちが、地元を取材し地元の魅力を作る非営利活動です。プロのクリエイターから学びながら、子どもたちの力で地元を取材し、撮影し、記事を書き、編集し地域情報誌（4 号は東住吉区/平野区版）を出版します。キッズライターは文章で表現！キッズカメラマンは写真で表現！キッズイラストレーターは絵で表現！地元を取材して発見したわくわくを、自分たちの力で地域情報誌で『伝える』にチャレンジしています。子どもの好奇心と大人の本気が地域を繋ぎ、子どもたち自身の未来そして地域や人やお店にスポットライトを当て、創造力・シビックプライドの育み、地域活性と大阪市のシティープロモーションを目指しています。

2026 年 1 月 10 日（土）アイスブレイク&ディレクター・デザイナー講座、編集ワークショップ

大反響を巻き起こした子ども地域情報誌うっこ 3 号出版の熱も冷めないまま、第 4 期がスタートしました。

過去子どもたちの為にとたくさんの方々のご協力のおかげでここまで来られました。今期も！大阪市東住吉区と平野区を取材して発見したわくわくを、自分たちの力で地域情報誌として全国へ伝えていきます。

まずはアイスブレイクゲーム。新たに 5 名の子ども記者が加わり初顔合わせなのでオリジナルのゲームをしました。子どもたちの元気とテンションは一気にトップギア！うねるように大爆笑で大盛り上がり。今年 1 年このメンバーでたくさんの楽しみを分かち合いながら同じゴールを目指します。その勢いのままディレクター（宮本司さん/スターファクトリー）講座とデザイナー（寺嶋梨紗さん/スターファクトリー）講座に突入です。静と動を切り替える子どもたちすごい！

デザイナー講座では 1 冊の雑誌が出来るまでの過程や、そこに多くのクリエイターが携わりそれぞれ役割や制作内容も違うお話に、子どもたちも興味津々でメモしたり質問したり積極的。デザインの仕事内容も教わり、特に子どもたちが取材し編集した『うっこ vol.03』のラフが、どうデザイン補強されて行ったかの過程も学び、子どもたちも大きな発見があった様子でした。

ディレクター講座では『編集』について学びました。「編集は司令塔！ 0 から 1 を創り、そのアイデアが雑誌の方向性を決めていく重要なお仕事！」様々な編集の違いによって雰囲気が変わる例を見せてもらい、実際に編集体験のワークショップ！

今回は好きな雑誌のページを模写しその良いポイントを 3 つ想像します。インプットとアウトプットの逆再生をする事で編集力のコツを自分なりに発見していく、とてもクリエイティブな講座を受けました。





2026 年 2 月 14 日（土）街の魅力探し&インタビュー・アート・カメラ講座 3 連発でパワーアップ！

4 期子ども記者たちも体験を通してたくさん学び感じ取り、日に日に『子ども記者』として、そしてそれぞれのチームでもカラーが出始め団結しています。いろんなタイプの子がいるからこそ、みんな違うからこそ、想像を超えたおもしろい物が出る！

2 回目の活動は子どもたちが調べて来た東住吉区と平野区の魅力チームで共有。

ブレインストーミングと KJ 法を使って、どんな取材がしたいかどんな発信ができるか可能性を広げ、子どもたちで主体的にチームの雰囲気を作っていました。「こういう取材がしたい」各班プレゼンテーションも行いました。

お昼ご飯を食べたあとはプロの講座 3 連発と盛りだくさん。

まずはライター（宮崎真歩さん）より『取材インタビューの仕方』を学びます。取材で大切なポイント、そして今年初公開のマル秘プロのインタビューテクニックを伝授してもらい、実際にインタビュー体験もしました。照れながらも子どもならではの感性で話を自然と膨らませていける子どもたち、おもしろい！

続いてはアート講座（口池晴子さん）今年はスクラップブッキングのアートワークショップです。正解不正解も上手下手もありません、常識にとらわれず自由に表現。子どもたち自らの持つ発想力や想像力をどう自分の表現に変えるか、その楽しさを発見し、雑誌の中でも発揮して欲しいと願っています。

最後はカメラマン（私砂子）より『写真の撮り方』を講座です。食材や人を撮る時の角度を頭の隅におきつつ、「も〜細かな事は気にせず思いっきり撮ってみよう！」公園に移動してとにかく楽しく撮影会！一眼レフを抱え子どもたちも走り回ります。難しい事は気にせずに撮りたい時にシャッターを「押せるか」を、遊びながら自然と経験しました。どの講座でも共通していますが、表現する為には“これ!”といった正解や確実なテクニックはありません。大切なのは『自分で考える』『自分で工夫してみる』『正解は自分で決める』これを胸に抱いて 3 月はいよいよ取材に向かいます。がんばってチャレンジしましょう！





子ども地域情報誌プロジェクト大阪市南部版について

【子ども地域情報誌うっとこ大阪市事務局】

所在地：大阪市東住吉区杭全 7-8-31 YOSIN 学院内

代表：砂子賢太郎

電話番号：06-7162-1676

メールアドレス：yosin-gakuin@jcom.zaq.ne.jp

HP：https://yosin.sakura.ne.jp/colomaga.html

※後援：大阪市、大阪市教育委員会。

※子ども地域情報誌プロジェクト『うっとこ』は、
子どもたちの創造力とシビックプライドの育成、大阪市の地域活性と
シティープロモーションを目指しています。

